[工事業者様用]

- このたびは、東芝パッケージエアコン用ワイヤレスリモコン受信部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- 取り付けの前に、この説明書をよくお読みになり正しい取り付けを行ってください。
- この受信部と組合わせるワイヤレスリモコンは別売です。
- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様に取扱説明書にそって使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
  また、この取付説明書は取扱説明書とともにお客様で保管いただくように依頼してください。

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン(天井カセット形1方向吹出し(SH)タイプ・天井吊形)
ワイヤレスリモコン受信部

取付説明書

形名 RBC-AXRU41C

安全上のご注意については、**取扱説明書・室内ユニットの据付説明書・取扱説明書をご覧になりお守りください。**

付属部品（次の部品が入っています。）

番号	付属部品	個数
①	受信部	1
②	取付説明書（本書）	1
③	取扱説明書	1

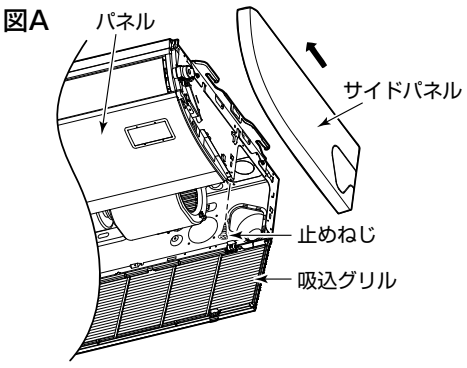
取付前の受信部の設定

受信部取付前に各項目をご覧になり、設定を実施してください。
- ●ワイヤードリモコンと同時設置する場合 → ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定
- ●同じ室内に複数の受信部を設置する場合 → リモコンのＡ／Ｂ切替設定（親／子切替）

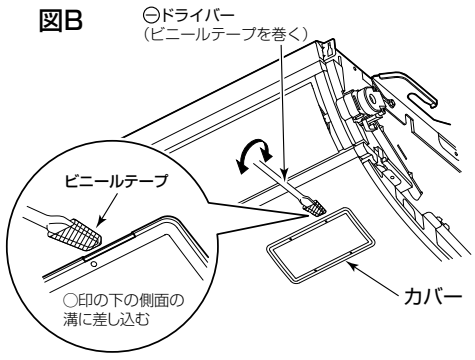
受信部の取り付けかた（天井吊形）

1. サイドパネルは吸込グリルを開き、ねじ１本をはずしてから前面（矢印方向）へ移動させてはずします。（図Ａ）
2. ㊀ドライバーの先端にビニールテープを巻き、カバーの○印の下の側面の溝に差し込んでこじるようにしてください。（図Ｂ）（パネルにキズを付けないように注意してください。）
3. パネルにリード線を通してから受信部をパネル穴に取り付けます。(受信部の突起部がパネル穴で固定されます。)
4. 受信部のリード線は、ルーバーモーターの配線を固定している板金フックに固定します。（図Ｃ）
5. サイドパネルを取り付けます。
6. 受信部からのリード線はルーバーモーター等の配線に添わせてコードクランプで固定します。（図Ｄ）
   ※電装ボックスの上側の穴を使用して引き込みます。

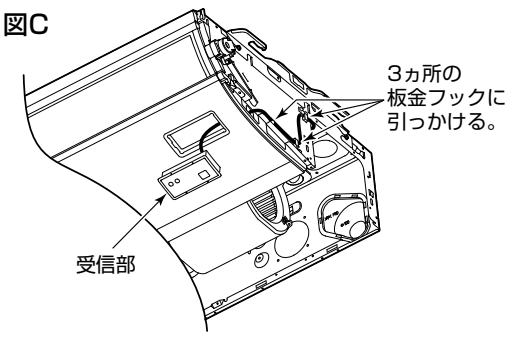
図A



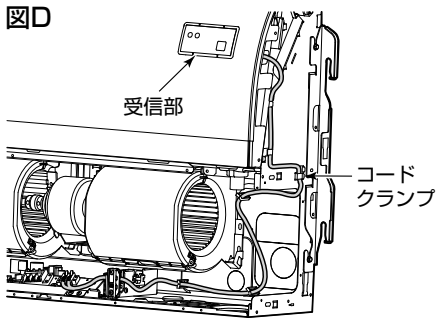
図B



図C



図D

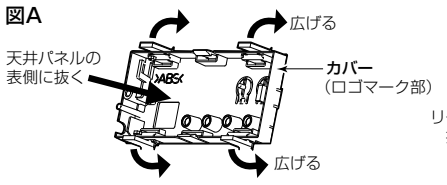


〈注 1〉受信部の配線は電源引込線などといっしょにより合わせると、誤動作の原因となりますので避けてください。
※配線、試運転については室内ユニット付属据付説明書“リモコン配線の接続”および“試運転”を参照ください。

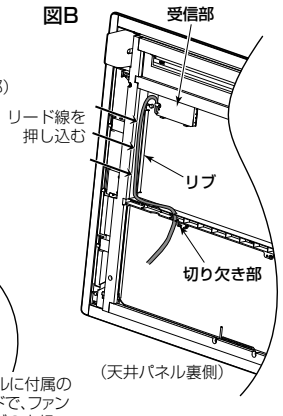
受信部の取り付けかた(天井カセット形1方向吹出し(SH)タイプ)

1. 天井パネルに取り付けてあるカバー（ロゴマーク部）を固定部のツメを広げながら、表側に抜きます。（図Ａ）
2. 受信部を天井パネルに取り付けます。（受信部の突起部が天井パネルのツメで固定されます。）
3. 受信部のリード線を天井パネル裏側のリブに沿って押し込み、切り欠き部に通します。（図Ｂ）
4. 天井パネルを室内ユニットに取り付けます。
5. 天井パネルから出たリード線は室内ユニット天面のコードクランプで固定します。（図Ｃ）
6. 受信部のリード線は、天井パネルに付属している結束バンドでファンケーシングの突起に固定し、電気部品箱の下側の穴から引き込んでリモコン端子板に接続します。（図Ｄ）

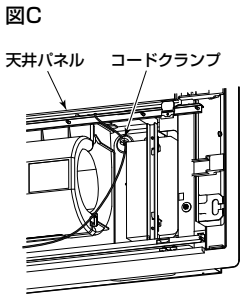
図A



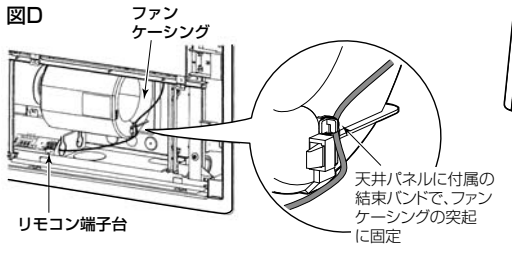
図B



図C



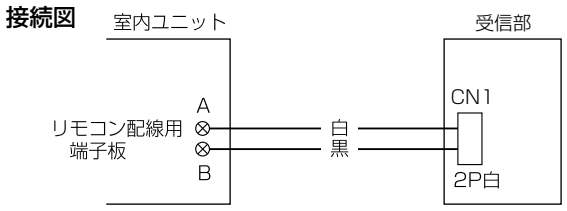
図D



〈注 1〉受信部のリード線は電源引込線などと一緒により合わせると、誤動作の原因となりますので避けてください。
〈注 2〉リード線がファンに巻き込まれないように、確実に固定してください。
〈注 3〉ユニット電源からノイズを誘導している場合は、ノイズフィルタを取り付ける等の処理が必要です。
※試運転については室内ユニット付属据付説明書“試運転”を参照ください。

受信部の配線のしかた

接続図



接続方法

受信部からの配線を室内ユニットのリモコン配線用端子板に接続してください。
（極性はありません。）

試運転（強制冷房運転）

お願い

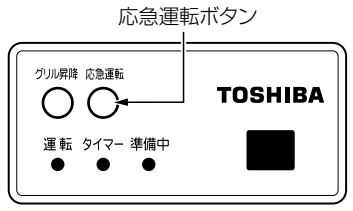
リモコンにて、通常操作で運転確認を行ってください。運転の手順は、付属の取扱説明書に従ってください。
室温がサーモOFFするような条件でワイヤレスリモコンが手元にない状況の場合、以下の手順にて強制試運転ができます。強制試運転は、連続運転を防止するため、運転を60分経過すると試運転を解除し、通常運転に戻ります。

注）強制試運転は、機器に無理が掛かりますので、試運転以外では使用しないでください。

試運転方法

1. 応急運転ボタンを10秒以上押して離すと“ピッ”と音が鳴り、強制冷房運転になります。(30秒以上押すと強制冷房運転になりません。)
   約3分後冷房運転が強制的に始まります。冷風が出ていることを確認してください。
   強制冷房運転が開始されない場合は、配線を確認してください。
2. 止めるときには応急運転ボタンを約1秒間押します。

●強制冷房運転中に室内機や室外機の配線や配管が問題ないことを確認してください。

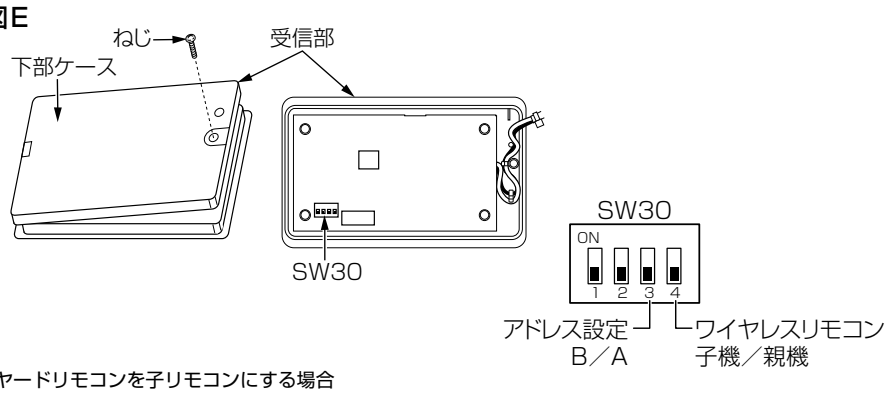


ワイヤードリモコンと同時設置する場合の設定（親／子切替）

ワイヤードリモコンと同時設置することにより、１台もしくは複数台のユニットを２個のリモコンで操作することができます。
（ワイヤレスリモコン・ワイヤードリモコンを合わせて最大２台まで設置可能です。）
２つのリモコンで操作する場合は、「親リモコン」と「子リモコン」の設定が必要です。
以下の手順でどちらかのリモコンを子リモコンに設定してください。

●ワイヤレスリモコンを子リモコンにする場合
1. 電源ブレーカを OFF にします。
2. 受信部の固定ねじをはずし受信部カバーをはずします。
3. 受信部基板のディップスイッチ SW30 の４番を OFF ⇒ ON にしてください。

図E

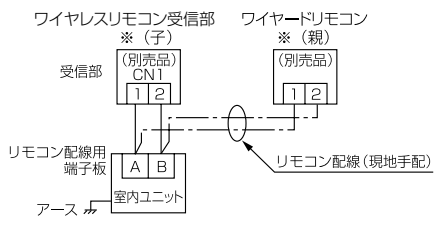


●ワイヤードリモコンを子リモコンにする場合
変更方法は、ワイヤードリモコンの据付説明書をご覧ください。
〈注〉リモコン親子設定が正しく行われていない場合は、点検コード“E 01”“E 03”または“E 09”が表示されます。

●基本配線図
〈注〉配線Ａ・Ｂの極性はありません。

室内ユニット１台をリモコン２台で操作する場合

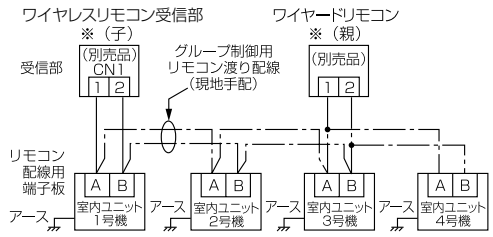
※どちらのリモコンを親／子リモコンに設定しても動作します。



- ●現地配線は 0.5mm² ～ 2mm² を使用します。
- ●総配線長は 400m 以内としてください。

複数台グループ制御を、リモコン２台で操作する場合

※親／子リモコンはどの室内ユニットに取り付けても動作します。



- ●現地配線は 0.5mm² ～ 2mm² を使用します。
- ●グループ渡り配線の室内ユニット間の最大配線長は 200m 以内としてください。

リモコンのＡ／Ｂ切替設定

●同じ部屋に複数の受信部が設置されているときは、混信を防ぐためにリモコンのＡ／Ｂ切替を設定することができます。
1. 電源ブレーカを OFF にします。
2. 受信部の固定ねじをはずし受信部カバーをはずします。
3. 受信部基板のディップスイッチ SW30 の３番を OFF ⇒ ON にします。(図 E)

※この設定内容はワイヤレスリモコン受信部側の設定でありワイヤレスリモコンのＡ／Ｂ設定変更を行わないと操作が出来ませんので、ワイヤレスリモコンの取扱説明書をご覧になりＡ／Ｂ切替を行ってください。

自己診断機能表と処置方法

●下の表は一例です。セット本体の詳細な警報については、室内ユニットの据付説明書をご覧ください。

表示ランプ	原　因	処置方法
運転 ● タイマー ● 準備中 ● リモコンを操作しても全く表示がない	電源が入っていない 受信部と室内ユニット間の誤配線	結線を見直して、正しく結線してください。
運転 ☼ 点滅 タイマー ● 準備中 ●	受信部と室内ユニット間配線の接触不良	
運転 ● タイマー ● 準備中 ☼ 点滅	室内外ユニット間の誤配線または接触不良	

表示ランプ	原　因	処置方法
運転 ☼ タイマー ● 準備中 ☼ 交互点滅	室外機の保護装置が作動	室外機をチェックしてください。
運転 ● タイマー ☼ 準備中 ☼ 交互点滅	室内ユニットの保護装置が作動	室内ユニットをチェックしてください。

受信部の表示ランプ　●：消灯　☼：点滅（0.5秒間隔）　表示ランプの色　運転：緑　タイマー：緑　準備中：橙

お客様への説明

- ●ワイヤレスリモコン「取扱説明書」、ワイヤレスリモコン受信部「取扱説明書」「取付説明書」は工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してから、お客様にお渡しください。
- ●ワイヤレスリモコン「取扱説明書」、ワイヤレスリモコン受信部「取扱説明書」にそってお客様にご使用方法とお手入れのしかたを説明してください。